

認知症と向き合うために

～9月は茨城県認知症を知る月間です～

認知症を知る

認知症とは・・・？

脳の病気や障害など、なんらかの原因により、認知機能が低下し、日常生活に支障が出る状態のことをいいます。

65歳未満で発症された場合「若年性認知症」とされます。

認知症は、**誰にでも起こりうる病気**です！

認知症の初期症状は・・・？

認知症の症状は、大きく分けて2つあります。

○中核症状

認知症の中心的な症状で、脳の働きが低下して起こる記憶や認知機能の障害

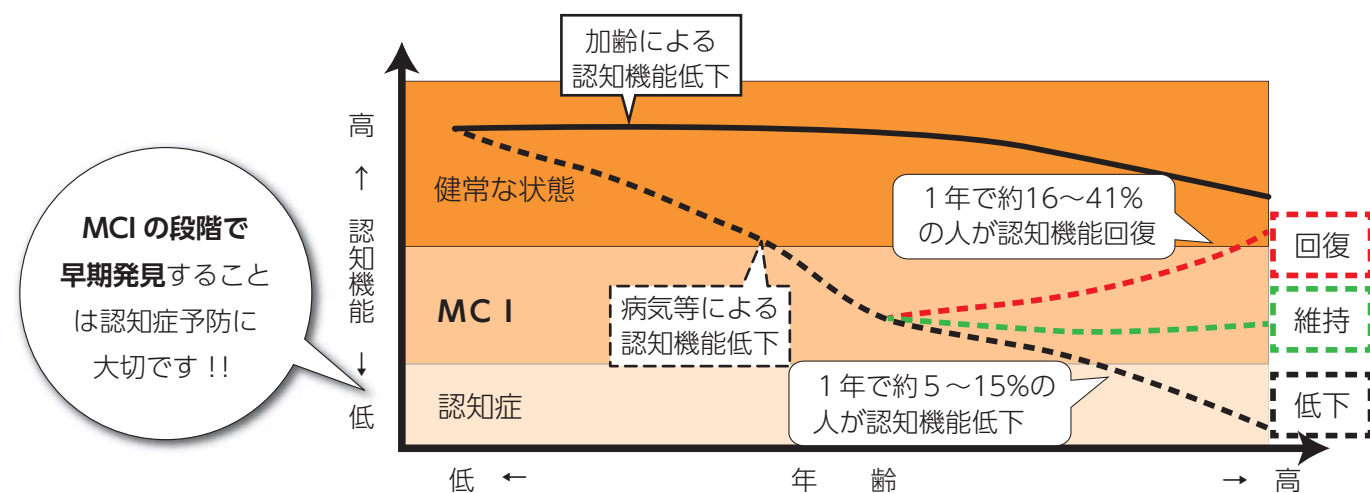
○行動・心理症状（BPSD）

中核症状に伴い、本人の性格や素質、周囲の環境や人間関係などが影響して出る精神症状・行動障害

「MCI」を知っていますか？

MCIとは、「軽度認知障害」のことで、「脳の機能が健常な状態」と「認知症」の中間の段階のことです。記憶力や判断力がいくらか低下している**自覚があるものの、日常生活は問題なく送ることができている状態**です。

MCIは、適切な認知症予防策により、**健常な状態への回復や認知症への進行を遅らせることが期待**できます。



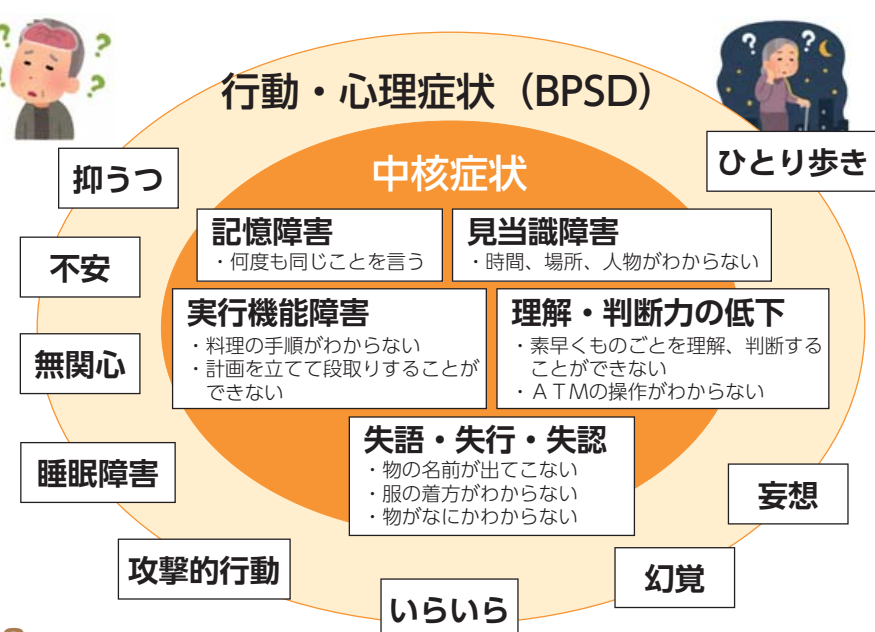
加齢によるもの忘れ

- ・体験したことの一部を忘れる
- ・もの忘れの**自覚**がある
- ・日付や曜日を間違えることが**ある**
- ・ヒントを出すと**思い出せる**
- ・日常生活に**大きな支障はない**

認知症によるもの忘れ

- ・体験したこと**自体**を忘れる
- ・もの忘れの**自覚がない**
- ・日付や季節が**わからなくなる**
- ・ヒントがあっても**思い出せない**
- ・日常生活に**支障が出る**

行動・心理症状（BPSD）



専門医に聞く「早期診断・早期治療」の重要性

認知症は、早期に発見して適切な治療を開始すれば、症状を軽減させたり、進行を遅らせたりすることができる場合があります。また、早期であれば、病気のことを理解して、その後の生活に備えるために自分で判断したり、家族と相談することができます。

高齢化が進行する現代社会で認知症は誰もが直面する問題であり、早期診断・早期治療は重要な課題です。認知症の中でも代表的な疾患であるアルツハイマー型認知症では、脳の変化は発症の10年以上前から始まると言われており、物忘れが目立ち始める「軽度認知障害（MCI）」の段階なら、近年の新しい治療薬（抗アミロイド薬など）等も活用しながら進行を遅らせられる可能性が高いと言われています。

それ以外の認知症でも運動、食事、睡眠、社会参加などの生活習慣改善は早期ほど効果が大きく、周囲のサポート体制も整えやすいため、認知症疾患医療センターやもの忘れ外来等の活用をご検討ください。



石崎病院
岩切 雅彦 院長

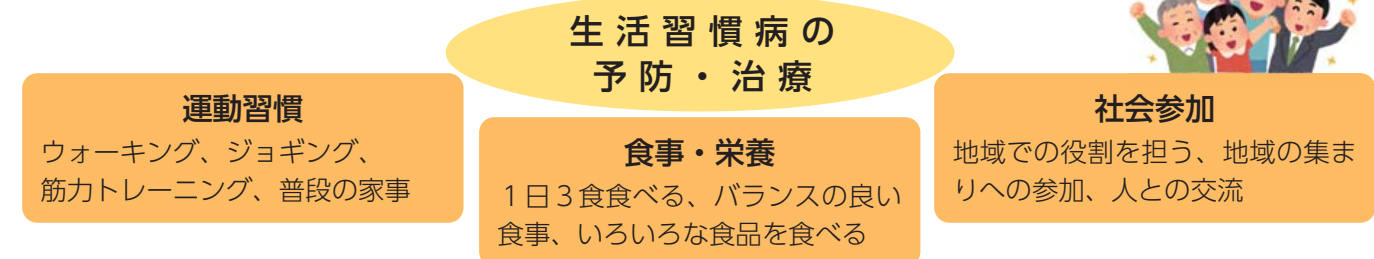


脳神経外科
ブレインピア桜ヶ丘
藤井 芳樹 院長

認知症は認知機能が低下する病気、障害の総称です。その一つにアルツハイマー型認知症があります。アルツハイマー型認知症は研究の進歩により早期段階で発見し治療を受けていただくことにより、進行を抑制できる病気になってきました。ただし、認知機能に支障をきたす疾患はそれだけではありません。脳にできものができる脳腫瘍、脳梗塞などの血管性病変、外傷に伴う変化など様々な脳の病気が認知機能を変化させます。

私たち脳神経外科は認知機能検査やMRI検査を施行し、早期に診断をつけて治療に結び付けることを提供していきます。ご家族様にいつもと異なる言動や行動を少しでも認めた際には躊躇せず、すぐに受診することをお勧めしてください。

認知症を予防するためには



認知症の人・家族のための支援

○認知症あんしんガイド

認知症の状態ごとに、主な症状や様子、家族の心構えを示し、その状態に応じたサービス提供の流れをまとめたものです。長寿福祉課、町地域包括支援センターにて配布しています。詳しくはこちら▶

ガイドブック



○ゆうゆうカフェ

認知症の方やご家族が集い、情報交換や相談を行います。奇数月第3水曜日に開催しています。詳しくはこちら▶

居場所・憩いの場



○いばらき見守りネット

協力機関と連携し、高齢者等が行方不明となった場合の早期発見および身元不明の高齢者等の保護を図るためにネットワークを構成しています。

【事前登録】行方不明となった場合の早期発見や迅速な身元確認に役立てるために、高齢者等の基本情報や身体的特徴、緊急連絡先等を事前に登録することができます。

▶申請先 長寿福祉課（1階 3番窓口）

もしもの時の備え

【問合せ先】長寿福祉課 ☎ 029-291-8407（直通）